

第1回 福岡地方会 活動報告

開催日 平成27年11月7日(土)

会場 NCBリサーチ&コンサルティング 13階会議室

平成27年11月7日(土)福岡市内において、第1回福岡地方会を開催することができました。他都道府県の地方会に出席したことはありますが、運営側の経験は皆無であり、何をして良いのかも分からず、月日と時間だけが押し迫り焦る日々でした。

会場選定の段階から難航しつつも、なんとか120名収容の貸会議室を確保。

日本医師事務作業補助研究会のホームページにアップされ、最低でも100名の出席者数を願いながら、参加申し込みのFAXを待ち続けていました。

最終的には、会員20名・非会員128名・合計148名の方々に出席をいただき、各県別での施設数は、福岡県43施設・山口県3施設・大分県1施設・長崎県2施設・宮崎県1施設・鹿児島県1施設・合計51施設でした。



講演1. 金沢脳神経外科病院 佐藤 秀次 院長より「病院管理者が医師事務作業補助者へ期待すること」と題して講演いただき、今後の医療業界の行方から、医師事務作業補助者

に求められている要点を御教示いただきました。

講演 2. 日本医師事務作業補助研究会 矢口 智子 理事長からも「医師事務作業補助者のチーム医療における役割」と題して講演いただき、何に医師は時間を取られているのか、何を医師事務作業補助者がサポートすべきかを学びました。

次に実務報告として、嶋田病院・水戸病院・原土井病院・原三信病院、合計 4 施設からの異なる立場での実務報告を行いました。

その後は、申し込み時に集めた各施設での悩みについて、実務発表者だけでなくフロアーからも意見やアドバイスを集約して、無事に予定時間内での閉幕となりました。

出席者数が予想を遥かに上回り座席数が不足、そのせいで会議室内の座席と座席の間隔が非常に狭く、良い環境での受講が出来なかったと思います。

また不慣れなせいで、受付の際に時間を要したり、様々な不手際がありました。

次回へと繋げるために最も重要なアンケート用紙も準備できておらず、重ね重ねお詫びを申し上げます。

皆様から率直な御意見や御指摘を頂戴できてない状況ではありますが、平成 28 年 4~6 月頃には第 2 回となる福岡地方会を考えていますが、今後は福岡市だけでなく他の地区でも開催が出来ればと願っています。

報告者 原三信病院 原 成孝

